

特集

低炭素で豊かな社会づくりに貢献する 富士通グループの“グリーンIT”

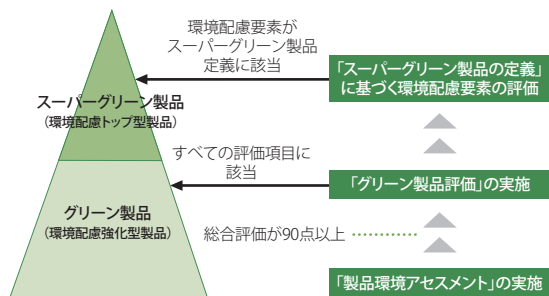


富士通グループが提供するグリーンIT

Green Policy Products (ITインフラ)

富士通の厳しい環境評価基準をクリアした「グリーン製品」や、そのなかでも省エネルギーや小型化などトップグループレベルの環境配慮要素をもつ「スーパーグリーン製品」、またあらゆる観点から省エネルギーを追求したデータセンターなどを提供しています。

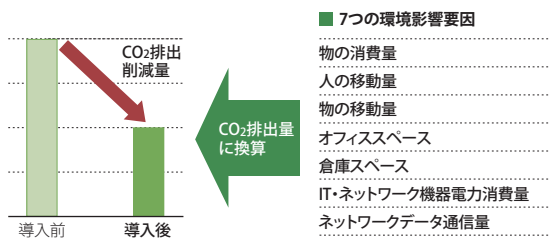
グリーン製品・スーパーグリーン製品評価の仕組み



Green Policy Solutions (ソリューション)

導入によりお客様の環境負荷低減に貢献する「環境貢献ソリューション」、お客様の環境活動を評価し、環境経営の継続的な高度化を支援する「環境経営ソリューション」、さらにお客様の環境業務を支援する「環境業務ソリューション」などを提供しています。

環境貢献ソリューション



ITソリューションの導入前後におけるCO₂排出量について、7つの環境影響要因から富士通が定量的に評価し、一定基準を上回る商品。

グリーンITの提供を通じて お客様の環境負荷低減に貢献する 「Green Policy Innovation」

富士通グループは、2007年12月から環境負荷低減プロジェクト「Green Policy Innovation」を推進しています。

このプロジェクトは、富士通グループが有する環境テクノロジーやノウハウを活かしたグリーンITの提供を通じて、お客様の企業活動や社会から発生する環境負荷の低減をめざす取り組みです。

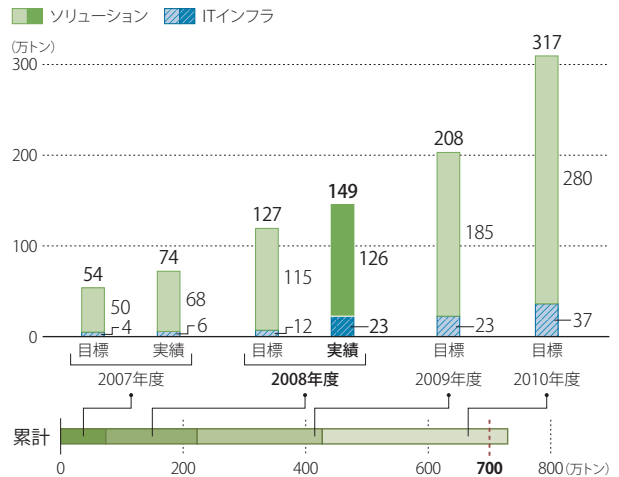
Green Policy Innovationでは、環境に配慮したITインフラ「Green Policy Products」と、導入により環境負荷低減に貢献するITソリューション「Green Policy Solutions」という2つの側面からグリーンITを提供。IT機器やデータセンターの省電力化、省スペース化を追求するとともに、富士通グループ内で蓄積された環境ノウハウを活かしたソリューションを提供することで、お客様の環境負荷の低減に貢献します。

このプロジェクトの推進により、2007年度から2010年度までの4年間で、累計約700万トン以上*のCO₂排出量削減に貢献することをめざしています。

2007年度から2008年度の累計では、ITインフラの提供により約29万トン、ITソリューションの提供により約194万トン、合計約223万トンのCO₂排出量削減への貢献を見込んでおり、目標を上回って進捗しています。

* 主要プラットフォーム製品と当社の環境貢献ソリューション認定商品の販売実績から将来の販売規模を予測し、富士通グループ独自の方法で算出した日本国内のCO₂削減ポテンシャル量。

「Green Policy Innovation」によるCO₂排出量の削減貢献目標と実績



Green Policy Innovation

Green Policy Innovation ロゴマークについて

富士通グループのグリーンIT商品や、グリーンITに関連する活動を示すマークです。

地球を想起させる球体をモチーフとして、地球規模で環境負荷低減に貢献していくことを表現しています。また、輝くクリスタル調の球体のなかに一枚の葉を納め、「環境への優しさ」や「揺るぎないPolicy」を具現化しています。



新しい時代を見据えて——富士通グループのビジョンと戦略

低炭素で豊かな社会の実現をめざして グローバルIT企業としての責任を果たしていきます

■環境を経営の視点で捉える

2008年は、京都議定書の第一約束期間がスタートするとともに、京都議定書の次の枠組みや中長期的な視野に立った削減目標の検討など、国際社会で活発な議論が行われ、2008年7月に開催されたG8(北海道洞爺湖サミット)では、「2050年までに、世界全体の温室効果ガス排出量を現状から半減する」という目標を共有することが宣言されました。しかしながら、世界経済は100年に一度ともいわれる深刻な危機に見舞われ、環境対策への遅れが懸念される一方、環境分野への積極的な投資で経済効果を狙う“グリーン・ニュー・ディール”とも呼ばれる政策が各国で発表されました。

こうしたなか、企業にとっても経済と環境を両立することがこれまで以上に大きな課題となっており、この課題を解決するには、環境を経営の視点で大きく捉え、戦略的に取り組んでいくことが必要です。

地球環境起点で行動する

■富士通グループでは、お客様、そして社会の発展に貢献するかけがえのないパートナーとなることをめざして、現在、3つの変革を推し進めています。その一つが「地球環境起点」です。

富士通グループは、環境を経営上のリスクとしてだけでなく、発展に向けたバリューとして捉えています。ITは、有効に利活用することで産業や社会におけるイノベーションを促進し、環境負荷を大幅に低減するポテンシャルをもっています。さまざまな領域でグローバルにITを提供している富士通グループにとって、事業活動における環境負荷低減はもちろん

のこと、ITの提供を通じてお客様、社会、ひいては地球規模での環境負荷低減に貢献していくことが重要な役割であり責任だと認識しています。

その具体的な活動の一つが、環境負荷低減プロジェクト「Green Policy Innovation」です。お客様の環境経営の継続的な高度化を支援する「環境経営ソリューション」の新規提供をはじめ、さまざまな分野でグリーンITの提供を推進し、2007年度から2008年度の累計で約223万トンのCO₂排出量の削減に貢献しました。また2008年9月に「ローカーボン委員会」を新たに設置し、事業活動における低炭素化も強力に推進しています。

富士通グループは自社の環境負荷低減に徹底的に取り組むとともに、そこで得たノウハウやテクノロジーを結集し、グローバルにグリーンITを開発・提供していきます。

■低炭素で豊かな社会の実現をめざして

持続可能な社会を実現していくためには、世界全体でビジョンを共有し、その達成に向けて、すべての人、企業、国・地域が力を合わせて取り組んでいくことが必要です。

富士通グループでは、2020年をマイルストーンとした中期環境ビジョン「Green Policy 2020」を策定し、その具現化に向けた取り組みを開始しています。低炭素で豊かな社会の実現をめざして、環境経営を一層強化していきます。

常務理事 環境本部長 高橋 淳久



特集 低炭素で豊かな社会づくりに貢献する 富士通グループの“グリーンIT”



オフィス・ビルで

法人向けPCコンパクト型省エネモデル FMV-ESPRIMO D5170
人事総務向けワークフローシステム GLOVIA ExchangeUSE

CO₂ 約 **-35%**^{※1}

CO₂ 約 **-48%**^{※2}

ITリソース管理システム SupportDesk Expert

CO₂ 約 **-35%**^{※2}

ビル管理システム Futuric

CO₂ 約 **-47%**^{※2}



交通・運輸で

運行支援ソリューション 車載ステーション(デジタコ)

CO₂ 約 **-19%**^{※2}

ETCインフラシステム ETCインフラシステム

CO₂ 約 **-24%**^{※2}

物流センターシステム LOMOS/DJ

CO₂ 約 **-58%**^{※2}



工場で

施設管理システム Futuric

CO₂ 約 **-47%**^{※2}

生産スケジューリングシステム GLOVIA/SCP FA

CO₂ 約 **-60%**^{※2}

環境パフォーマンスデータ 記録管理システム SLIMOFFICE

環境パフォーマンスデータの可視化

環境情報システム (汚染物質排出管理) e-FEINS

環境リスク低減



農地で

農地管理システム 農地管理GIS

CO₂ 約 **-50%**^{※2}

農業活性化推進ソリューション NetSeeds

CO₂ 約 **-59%**^{※2}



病院で

医療電子カルテソリューション HOPE/EGMAIN-GX

CO₂ 約 **-30%**^{※2}

医療画像情報システム HOPE/DrABLE-EX

CO₂ 約 **-21%**^{※2}

健康管理ソリューション HOPE/webH@ins

CO₂ 約 **-55%**^{※2}



自治体・行政で

証明書自動交付システム Conbrio-J

CO₂ 約 **-66%**^{※2}

Web作成支援システム GWebLink-Neo

CO₂ 約 **-90%**^{※2}

公共事業執行管理システム 公共事業執行管理システム

CO₂ 約 **-18%**^{※2}

暮らしや社会の あらゆるところで貢献する 富士通グループの“グリーンIT”

ITは、現代社会でビジネスや生活になくはならない存在であり、地球環境の未来にとっても必要不可欠です。

富士通グループは、環境に貢献する先進的なソリューションをさまざまな分野で提供するとともに、IT機器の省電力化など環境性能の向上にも取り組んでいます。

これら富士通グループの“グリーンIT”は、社会のあらゆる領域で環境負荷の低減に貢献しています。



ネットワークで

ネットワークサーバ
IPCOM EXシリーズ

CO₂ 約 **-55%**^{※3}

ギガビットイーサ型 PONシステム
GE-PON ONU

CO₂ 約 **-41%**^{※3}

リアルタイム映像伝送装置
IP-900シリーズ
(IP900E/IP-900D/IP-910E/IP-910D)

CO₂ 約 **-24%**^{※3}

NGNプラットフォームシステム
UB300

CO₂ 約 **-74%**^{※3}



データセンターで

UNIXサーバ
SPARC Enterprise M3000

CO₂ 約 **-65%**^{※4}

ブレードサーバ
PRIMERGY BX900

CO₂ 約 **-40%**^{※5}

グリーン・ファシリティ構築支援
グリーン・インフラ・ソリューション

CO₂ 約 **-50%**^{※7}

多点温度管理
リアルタイム多点温度測定技術

温度分布を可視化

- ※1 使用時における他モデルとの比較。
- ※2 (株) 富士通研究所が開発した環境影響評価手法を用いて算出。
- ※3 使用時における従来製品との比較。
- ※4 性能比を考慮した使用時における従来製品との比較。
- ※5 約3年前のラック型サーバをブレードに集約した場合の削減効果 (SANポート構成時)。
- ※6 待受電力の従来製品との比較。
- ※7 目標の最大値。サーバやストレージなど、IT機器自体による省エネ効率化は除く。

なお、ここに記載された数値は、測定・算出条件や使用形態などにより変化します。

宇宙で

温室効果ガス観測技術衛星
「いぶき」プロジェクトへの貢献

金融機関で

自動機 (ATM) システム
自動機資源配付パッケージ

CO₂ 約 **-38%**^{※2}

信用金庫内部情報システム
SB-Square

CO₂ 約 **-28%**^{※2}

金融機関向け為替イメージOCRシステム
KMASTER

CO₂ 約 **-59%**^{※2}



漁場で

水産海洋情報提供サービス
トレダス

CO₂ 約 **-20%**^{※2}

水産資源の持続可能な利用



学校で

SaaS型eラーニング
e-Learning Navigware

CO₂ 約 **-50%**^{※2}

学内事務システム
Campusmate-J

CO₂ 約 **-54%**^{※2}

登下校お知らせサービス
アクティブ型RFIDタグ

CO₂ 約 **-28%**^{※2}

百貨店・スーパーで



量販店向けPOSシステム
GlobalSTOREIII

CO₂ 約 **-30%**^{※2}

インターネットショッピングシステム
i-market

CO₂ 約 **-25%**^{※2}



家で

PCリサイクル
富士通製パソコンリサイクル
(ディスプレイ、本体含む)

資源循環

グリーン電力証書システム
対応PC

FMV-BIBLO LOOX U/CSO ECOモデル

グリーン電力の普及

携帯電話
らくらくホンシリーズ
(F884i/F883iS/F884iES)

CO₂ 約 **-20%**^{※6}

富士通グループはその他さまざまな領域で環境負荷の低減に貢献するたくさんのソリューションを取り揃えています。富士通ホームページをご覧ください。

<http://jp.fujitsu.com/solutions/eco/>

グリーンIT
事例



宇宙から温室効果ガス濃度を観測する世界初の人工衛星

「いぶき」プロジェクトへの貢献



「いぶき」は、CO₂やメタンの濃度を宇宙から地球のすみずみまで観測する世界初の人工衛星です。富士通グループはこの「いぶき」プロジェクト※に最先端のITで貢献しています。人工衛星の軌道管制システムや観測データを管理・保存するシステムを富士通が、また観測データをもとに地球全体の温室効果ガス分布を「見える化」するシステムを富士通エフ・アイ・ピー（株）が担当しています。

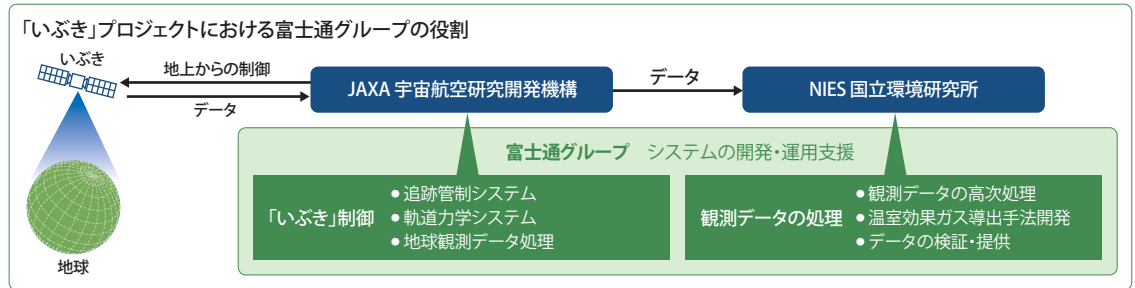


©JAXA

温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」

※「いぶき」プロジェクト

JAXA（宇宙航空研究開発機構）、NIES（国立環境研究所）、環境省による共同プロジェクト。



グリーンIT
事例

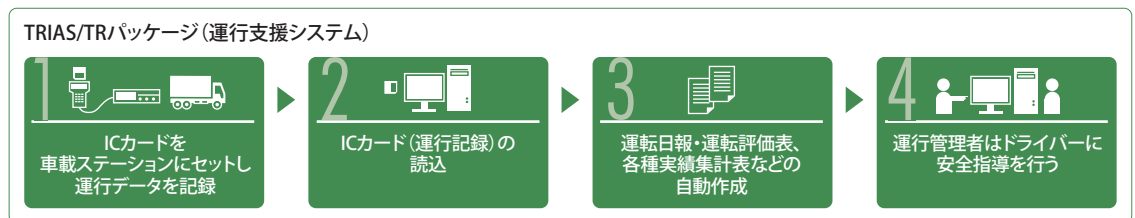


配送効率や燃費の向上によって環境負荷を低減

商用車向け運行支援ソリューション



富士通グループは、運輸・配送用のトラックなど商用車の運行管理を支援するソリューションを提供しています。GPS衛星情報と運行データを適切に管理することで、配車や配送ルートの効率化を図り、物流に伴う環境負荷の低減に貢献しています。また、アイドリング時間や急加減速などの運行データも記録でき、環境・安全に配慮した運転をドライバーに指導する際にお役に立ていただけます。なお、本ソリューションは、「グリーンITアワード2008」において、審査員特別賞を受賞しました。



グリーンIT
事例

3

省電力、省スペース、静音化を実現したUNIXサーバ

「SPARC Enterprise M3000」

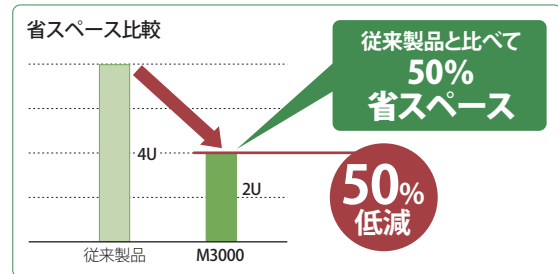
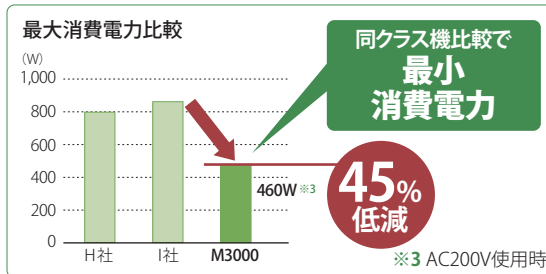


「SPARC Enterprise M3000」は、高い処理能力と信頼性を誇る最新UNIXサーバです。最先端半導体技術や省電力コンポーネントの採用、冷却技術などにより、従来製品に比べて消費電力量を最大約58%※1、性能向上と合わせてCO₂排出量を約65%削減※1したほか、約50%※1の省スペース化を実現。また静音設計により騒音レベルを47dB※2に抑え、静かなサーバ環境を実現。お客様のITシステムの運用コスト削減に加え、環境負荷低減に貢献します。



※1 PRIMEPOWER 450 (4U) 比。

※2 25℃環境下、値は設置環境・温度により変化。



グリーンIT
事例

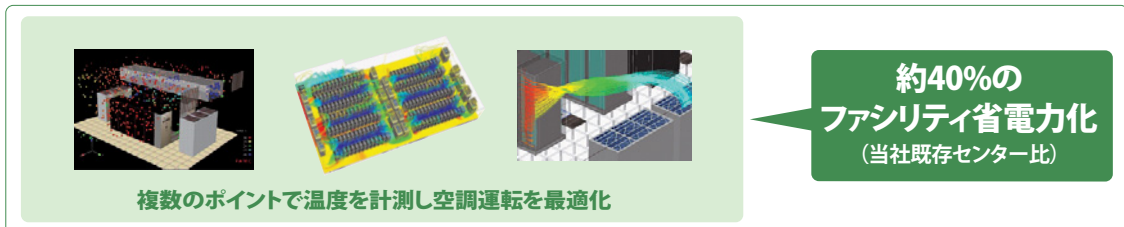
4

多角的な観点から省エネルギー化を推進

環境配慮型データセンター



富士通グループは、空調・電源・照明などの効率的な運転や、冷却設備・建材への配慮、太陽光発電などクリーンエネルギーの積極的な活用などを通じて省エネルギー化を追求する「環境配慮型データセンター」を構築しています。独自の計測技術を駆使してエネルギー使用状況を「見える化(可視化)」し、最適な運転管理をすることでさらなる省エネルギー化を推進します。現在建築中の新センターでは、約40%のファシリティ電力を削減します(当社既存センター比)。



グリーンIT
事例

医療現場の電子化で環境負荷を低減

5

電子カルテシステム、医療画像情報システム



「電子カルテシステム」「医療画像情報システム」を導入したある病院では、ペーパーレス化による紙資源の節約に加え、年間30万枚使用していたX線フィルムが不要となりました。紙カルテとフィルムの保管スペースも、従来の年間200m²から15m²へと大幅に削減できました。また「医療画像情報システム」の導入は、CO₂排出量を約20.9%※削減する効果があります。富士通は、医療現場での環境負荷低減にも貢献しています。



※(株)富士通研究所の開発した環境影響評価手法を用いて算出した値。



グリーンIT
事例

お客様の環境活動を経営の視点から評価し、継続的改善を支援

6

環境経営ソリューション



環境負荷の低減だけでなく、経済的価値の向上や企業価値の向上も同時にめざすのが、富士通の「環境経営ソリューション」です。お客様の環境活動を経営の視点から約100項目で評価し、課題を抽出、課題解決に向けたソリューションを提案します。評価・課題抽出・改善のサイクルを繰り返すことで、環境経営の継続的な高度化を支援します(P57-58参照)。

